

第2回 西尾市総合計画審議会

日 時：令和4年3月16日（水）10：00～11：40

会 場：西尾市役所 22 会議室

次 第

1. 会長あいさつ
2. 議題
 - 基本構想（案）について
 - (1)基本指標について
 - (2)土地利用構想について
 - (3)分野横断型重点施策について
 - (4)その他
3. その他

配布資料

資料1 にしお未来創造ビジョン（第8次西尾市総合計画）基本構想（案）

資料2 委員の皆様にご審議いただきたいポイント

委員

出席

氏名	団体名	氏名	団体名
武内 基亘	西尾市教育委員会	手島 とし子	ばらネット
外山 好一	西尾市農業委員会	中村 行男	西尾市障害者福祉団体連合会
小田井 博茂	西尾商工会議所	石川 貞夫	西尾市社会福祉協議会
齋藤 種治	西三河農業協同組合	井関 公宏	西尾市老人クラブ連合会
杉田 愛次郎	西尾市文化協会	千頭 聡	大学教授
辻村 和敏	西尾市スポーツ協会	古居 節男	一般公募
鳥山 欽示	西尾市観光協会	朝岡 英雄	一般公募
杉浦 明博	西尾市国際交流協会		
黒野 太郎	西尾青年会議所		

欠席

氏名	団体名	氏名	団体名
黒田 哲也	西三河漁業協同組合	加藤 智子	西尾環境市民塾
四方 敦	西尾市医師会	植田 康裕	西尾市子ども会育成連絡協議会

継承略

傍聴 0名

開会

発言者	内容
事務局	おはようございます。委員の皆さまにおかれてましては、ご多忙のところ審議会にご出席いただき、ありがとうございます。これより第2回総合計画審議会を開催します。本日は委員の半数以上の出席となっておりますので、本審議会は成立していることをご報告します。本審議会は公開としています。記録作成のため、録音と写真撮影をいたしますので、ご了承をお願いします。では次第に沿って進めます。会長よりあいさつをお願いします。

1. 会長あいさつ

発言者	内容
千頭 会長	おはようございます。千頭です。一か月くらい前だと新型コロナの話題が大半を占めており、大学も厳しい2年間を過ごしてきて、ようやく見通せるかと思っていたら、世界が大変なことになってしまい、今までの構図が崩れてきて、新しい何かをつくらなくてはならないことになっているかもしれません。今日ご参加の企業の皆さんも影響があるかと思います。今日は第2回の審議会であり、総合計画の上位の部分にあたる基本構想を議論いただく回です。全体像を理解せずに文言だけ議論するのは難しいかもしれませんが、西尾が目指す大きな方向性について議論できればと思いますので、よろしくお願いします。
事務局	ありがとうございます。では、規程に従いまして、これ以降は会長から進行をお願いします。

2. 議題

基本構想（案）について

(1)基本指標について

発言者	内容
千頭 会長	議題が基本構想案についてなので、中身はいくつかに分かれますが、順番に説明をお願いしたいと思います。今日は資料2として、議論いただきたいポイントの資料もありますので、それを見ながら議論できればと思います。では、説明はまとめてお願いします。
事務局	事務局より資料説明。
千頭 会長	ありがとうございました。そうすると、資料2 議論ポイントとして、基本構想のなかで、基本指標、基本目標のあたりで1つ、後半の説明にあった土地利用が2つめ、3つめが分野横断型重点施策までと、少し時間を区切りながらご意見をいただければと思います。では、21 頁までのところで、将来像、基本理念、基本目標、人口・世帯の辺りでご意見はいかがですか。
古居 委員	総人口で、第7次総合計画のころが16万3千人であり、今回、17万3千人余りとなっています。西尾市は頑張っており、工場誘致が盛んです。拠点を見ても新しいところが出ており、感謝しています。工業地も新しいところを位置付けてもらい、感謝しています。第1回の時に、申したことも書いてもらっており感謝しています。これなら令和14年には財政力指数が1を超えと思っています。人口は努力していますが、総世帯は、令和4年から14年までに8千世帯増えています。これはマンション・アパート、一戸建てが増えて対応すると思います。蒲郡市とか幸田町とか岡崎市から通う人が増えても税収の確保が思うようにいかないのでは、西尾市に住んでもらえれば、西尾の税収になると思うので、新市街地の整備、上横須賀駅の所で考えているとのことですが、西尾市内に住んでいただけるよう、新市街地の整備以外にも、公共団体による区画整理を併せて考えてもらうことが必要ではないかと思います。西尾市は17万都市なので、恥ずかしくない都市にするために、市役所周りでは旧土地改良法で施行された道路がそのまま残っており、排水路等も現存しており、下水管も入っていない、その辺も総合計画で検討課題として加えてもらえるといいと思います。
千頭 会長	一対一で事務局に意見を出すというより、委員で意見を出し合ってからまとめた後、事務局に聞きたいと思いますので、続けて意見ををお願いします。
中村 委員	西尾市の場合は、農業、工業、商業と3点がバランス取れたと言っています。工業関係は努力して誘致してたくさん工場がありますが、水産関係は、三河湾の魚が取れない、アサリが取れない、海苔も取れないといった緊迫の状態です。合併して11年たって、現在の西尾市になって幡豆3町にどのような変化があったかをみると、なかなか合併効果が見えてきません。まず、道路のインフラ整備。なかなか実現化していない。岡崎蒲郡線、衣浦蒲郡線などは一部4車線化され便利になりましたが、道路のインフラ整備を優先して、幡豆旧3町も交通網がスムーズになったらいいと思います。都市計画マスタープランの中にある一部が変更になってしまったので、このよ

発言者	内容
	うな計画はマスタープランに入れないと実現しないので、この計画と整合取ってもらいたいと思います。東南海地震があるかもしれないので、一色地区は特に地価が下がって発展しない。岡崎市ではイオンモールに名古屋の駅前の高島屋が入って大きなモールができたとありました。病院も藤田保健衛生が出てきて、ショッピングモールもあります。西尾も小さな商店の方の生活が苦しくなっているのでは、計画は5年先10年先の視野で、着工できるものはどんどんやっていく。企業は災害対策を考えて、山の方を開発しています。企業ができれば住宅、サービス、商業も発展すると思います。一番、お願いしたいのは、道路整備、インフラをしっかりと早急に進めていただきたいです。
千頭 会長	ありがとうございました。旧3町を中心としたインフラ整備に関するご意見でした。
朝岡 委員	資料をみて、ここから読み取れるのは人口が増え世帯当たり人員が減ると、世帯も増えて、一人世帯が増えるということです。夕張市やニセコ地域で起こっているような単身世帯が外国人の人口増加であれば、相互主義を適用しないと、外国人参政権のことなど言われても困るし、外国人が土地を取得する際に注意しなければ、相互主義にあたらぬ国の方が市政に参加して、思うようにならないといったことが起こってもいけないので、どこの国の人が増加するのか、土地を取得した場合、国家総動員法のような法律がある国の人が取得していると、何かあったときに使えなくなると困るので、人口増加を手放しで喜ぶべきではなく、計画的に送り込まれてくることもあるので、その辺も注意していくべきだと思います。
外山 委員	最近、農家も高齢化して、畑の問題もあります。新型コロナ禍以降、県外からのお客が多くなりました。さかな広場に行くまでに耕作放棄地、荒れているところがあるので、有効活用しないともったいないと思います。佐久島に行く人やさかな広場に行く人が多いので、有効利用しても価値があると思います。
小田井 委員	西尾市らしさ、どこの市でも同じことになっていないでしょうか。西尾の特徴を10年先を見据えて、根幹となる西尾らしさを出さないと、毎年同じようになってしまうのではないのでしょうか。今までは、西尾は繊維、鋳物、自動車、抹茶などバランスよくきたと思いますが、これからは大きな変換点だと思います。それを見据えて、いろいろ考えないといけないと思います。高速道路のICもない、JRもない。今までは平和な西尾だったと思いますが、今後は危機感を持つべきで、危機感をどこかにいれるべきではないでしょうか。
千頭 会長	西尾らしさと危機感に関するご意見でした。
鳥山 委員	例として、策定の背景に社会を構築するのは市がやることでもないし、DX、CN、SDGsも全部、入れ込み過ぎだと思います。注釈が必要な言葉は市民向けには駄目だと思います。もっと市民に届くような文章を入れないといけない。一都市が書いてもピンときません。市民の心に届くような文章を心がけないといけないと思います。流行りの言葉を並べればいいのではない。観光については、何故、必要かという、人口が減る、産業基盤が減るなか、所得を上げるには海外の人に目を向け、外から来た人が食事をしたりして、お金を落としてもらおう。理屈と論理があります。なぜやるのか。それをやる前提、理屈がないといけない。観光は、旅館とか佐久島だけの問題ではなく、ふるさと納税もそうだし、観光を通じて物販、好感度も上がるので、だからこうなる、といった理屈が必要です。
齋藤 委員	農地の耕作放棄地を危惧されているとの意見がありました。JAも耕作放棄地もごみ問題も危惧しています。ネックは水と畑の面積です。面積は集約化されつつありますが、まだ小さいです。一番の問題は適性価格が考えられていないこと。その辺が市場では理解されず、農作物の価格が下がり、他の産業の方がよくなり、農業をする人がいなくなるといった悪循環が起こっています。西尾の農地がそのままいいのか、といったことに対して集約して契約栽培したりしても

発言者	内容
	いいと思います。外国人にも手伝って頂きたいと思います。この田園地域を全て、我々としては守っていききたいと思います。
千頭 会長	先ずは、20、21 頁、人口・世帯については、これまでの意見の中で、10 年前の目標が達成され順調ではないか、ということで、異論はなかったと思いますが、いかがですか。
手島 委員	西尾市だけではなく、一人世帯が増える見通しがあると思います。空き家も増えるのではないのでしょうか。10 年後 20 年後、一人世帯が増えると同時に、空き家問題も考えるべきではないのでしょうか。
千頭 会長	空き家問題は基本計画で出てくると思います。人口・世帯についてはいいのでしょうか。

(2)土地利用構想

発言者	内容
千頭 会長	では、22 から 25 頁の土地利用についてです。ゾーン、拠点、軸があり、土地利用構想図があります。基盤整備、区画整理が引き続き必要、農地も必要、耕作放棄地対策も必要との意見を貰いました。土地利用について意見はありますか。
外山 委員	産業拠点の位置と範囲は、ほとんどが農業が盛んな所です。この範囲で産業が形成されると、この地域で農業を廃業する人ができます。西尾市では全国でもレベルの高い高度な農業をしているので、それなりの資本金が必要です。西尾市は工業化して税収が上がりますが、投下資本を回収できない零細農家もできます。国策に沿って土地を守ってきた農家に対して、西尾市はどのように考えているのでしょうか。また、産業拠点の排水について、農業用の設備を工業用として今後、利用するのは無理があるのではないのでしょうか。水田があり農地の多面的機能による貯水機能としての排水路であり、工業地の排水は、農排水の能力を超えるのではないのでしょうか。産業拠点の整備について、排水基盤を整備してから誘致するべきと思いますが、どうでしょうか。
千頭 会長	産業拠点はどのような考え方で位置付けているのでしょうか。
事務局	土地利用のイメージは、構想であり、現時点で誘致が決まっているわけではありません。企業から相談あってから検討するのではスピード感に劣るため、企業から相談があったら、農業者と相談しつつ排水関係にも相談しながら、全体的なまちづくりとして進めていきます。全て企業ありき、ではありません。それらが共生した土地利用のスタンスです。
朝岡 委員	愛知県では、土地利用改良地で、工業系に本来は許可できないことを許可しています。西尾市では慎重にしてもらいたいです。SDGs の精神にも反すると思います。どこに誘致するかは慎重に見極めて欲しいです。
古居 委員	土地利用構想をみると、真ん中に名浜道路が記載されています。これについては、国の高規格道路で 30 年くらいスパンの事業と思っていますが、以前とルートが大幅に変わっています。これが意図するところとして、名浜道路よりも先に、三河道路を先行する。三河部分については県施工、尾張部分は国施工となり、骨格道路が先行して整備にすることになったと新聞報道にありました。しかし、私たちにとって、位置を変えたのは、高規格道路だが、産業道路として、愛知県施工として少しでも早くするためルート変更した意図があるのではないかと思います。ルートを変えた意図がわかったら教えて欲しいです。
千頭 会長	道路関係について、他に意見はありますか。
事務局	名浜道路については、平成 5 年に西三河南北道路推進協議会が立ち上がって 30 年近く経ちました。最近のニュースをみると、衣浦蒲郡線が愛知県において、現道の機能強化について着手するとの発言があったので、今から少しずつ進んでいくと思います。この辺を通過して碧南に向かっていくと考えています。

発言者	内容
古居委員	幡豆の土砂採取地にも近いので頑張って欲しいです。
手島委員	新拠点について、上横須賀駅は昔からのどかで田園が広がっています。都市機能や交流機能の導入を考える、とありますが、集客するための施設の構想をどう考えていくのでしょうか。のどかさがなくなる構想があるといいと思います。人が集まるのはいいのですが、昔ながらの良さがなくなるような、両立するような構想があるといいと思います。
千頭会長	新拠点について、他に意見はありますか。
朝岡委員	交通軸については、いいと思います。高齢化が進んで問題になるのが、今のコミュニティバスのバス停までどう行くのか、といったことです。高齢化を見据えて、自治体タクシーを考えてもいいのではないのでしょうか。2時間に1本しかないバスを待って病院に行くことを考えると、行って帰ってきただけで1日が終わります。どのように支えるかを考えてもいいと思います。
千頭会長	交通の問題は各論で出てくると思いますが、土地利用構想にもでてきてもいい、という意見でした。土地利用構想は、軸と拠点、全体としてのゾーンという考え方でできています。専門委員から何かありますか。
杉戸専門委員	都市計画マスタープランで細かい土地利用を策定しています。議論の中で具体的な意見もあったので、都市計画マスタープランで詳細な土地利用構想しているので、もしかしたら変更があるかもしれませんが、基本的には、人口が増加するが、一方で高齢者世帯が増加するなか、集約型都市構造、歩いて暮らせるサービス受けられるまちづくり、拠点を交通で結んでいくという考え方にはあるので、その考え方の中で、土地利用を都市計画マスタープランで検討しています。
榎野専門委員	全体として、今日皆さまから具体的な提案とか要望がでたのはありがたいです。実は、基本目標について、まだ具体的ではありません。コンセプトとしてこういう西尾市にしたい。それを施策体系、基本計画としてやっていく。そこに提案が反映されていきます。最初に人口の問題として、17 万に意見はありませんでしたが、これは日本全体を考えたときに、本当にこんなに上がるのか、その施策は何かを考えなくてははいけません。そうすると西尾の特徴は、どうしたい、そうすると施策の取捨選択がでてきます。少人数でそれを決めてもいけないので、皆さまの意見をもらい、その最大公約数として決めていく。委員の皆さまは、各団体の代表であることに加えて、全体を見て、どこを我慢する、力をいれる、その辺に結びつくようにできればと思います。人口が減ると税収が下がって公共サービスが下がります。そこが課題と考えた中で、ワクワクを考えていきたいと思います。
千頭会長	コンパクトシティという言葉を入れておかないと、かつて国の事業の採択が難しいと言われてましたが、その言葉が入っていませんが、いいのでしょうか。
事務局	総合計画では大丈夫です。

(3)分野横断型重点施策について

千頭会長	施策体系に戻って、「ワクワクするまち にしお」のなかで、個々の施策は次々回で議論するとして、分野横断型重点施策では、西尾らしさがどこかにでてくるのかが、ここに出てくるといいと思いますが、ご意見はいかがでしょうか。
朝岡委員	施策横断型重点施策はこれそのものがSDGs だと思うので、これがSDGs というとわかりやすいのではないのでしょうか。温かいまち、時間がゆっくり流れる西尾市になってもらいたい。分野横断型重点施策イコールSDGs でいいのではないのでしょうか。
杉田委員	基本的な質問だが、「もっとワクワク」は「夢」だと思います。夢には2つの意味があります。将来の夢と夢で消える夢。これは財政的な裏付けは論じなくていいのでしょうか。夢を可能にするための財政を論じていませんが、その辺はどうでしょうか。

千頭 会長	10 年前でも、他市町でも同じような議論があります。企業を経営されている方の視点からみると、そのような意見もあると思います。行政の総合計画は会社の計画と違う面もありますが、市として財政の裏付けはどうでしょうか。
事務局	「もっとワクワク」は将来像であり、財政の裏付けは、行財政運営の施策の中で、財政の健全化とか行革といった内容は入れていきます。西尾市行政改革推進計画第5次実行計画が終り、令和4年度から第6次実行計画が始まります。そこでも全体を見直してやっていくとしています。榎野専門委員とも相談し、財源の裏付けを検討してやっていきます。
杉田 委員	そうすると、分野横断型重点施策に財政的な部分を入れないと、単なる淡い夢に終わりそうです。経営者の観点からすると、その辺は組み込まないとまずいのではないのでしょうか。
千頭 会長	この下に毎年ローリングする実施計画を作ります。実施計画では予算としてこれくらい必要ということを検討しています。最終的には議会の判断もあります。ご指摘はその通りですが、行政計画は予算ありきではない面もあります。しかし、大事なご指摘です。
外山 委員	西尾駅周辺ですが、玄関口として本来はコンベンションホールとホテルは1つの建物でよかったのではないのでしょうか。別の建物にして駐車場が出入りしなくて狭くて利用しにくい。分野横断型でいろいろ考え、相談して、やってほしいです。コストも下がると思います。
千頭 会長	公共施設のあり方は別途、検討していると思います。黒田委員、将来像についてどう思われますか。
黒野 委員	「ワクワクするまち」、はワクワクする人がいなくてはいけないと思います。愛知県がやっているスタートアップ企業ステーションなど西尾市に作って会社を作る人を沢山応援できるようにすると、それがそのままワクワクにつながると思います。観光資源があっても、西尾に住んでいる人から見ると身近すぎてワクワクしません。ワクワクしている人を集めて、その辺から刺激をもらうのも面白いと思いました。土地利用と人口、世帯で、世帯は令和24年で1万6千世帯増えるとあります。一人暮らしが増えるとの前提ですが、そこを増えないようにする施策は打てないのでしょうか。土地利用構想の住居エリアとか、市内の耕作放棄地は他の限界集落の耕作放棄地に比べると使いやすいと思うので、西尾市が買い取って住宅を作って高齢者が集まって住めるようにして、高齢者が住んでいた家を西尾市が買い取って外から住みたい人に売るとか、西尾市の管理下において市の許可が得られた人に売却できるとか、仲介して賃貸して賃料を高齢者に分配できるようにして、新しい老人ホームで暮らせるようにするとか、一人世帯を作らないための発想があっても面白いと思います。宮崎の旅館をモデルケースにして高齢者の人たちが毎日温泉に入れますよ、といった施設を作ったりとかしてもいいと思います。市内に住んでいる人がそのまま市内で安心して住み続けられる仕組みづくりもあっても面白いと思いました。
千頭 会長	一人暮らしをできるだけ抑えようというご意見でした。
武内 委員	分野横断型重点施策の居場所づくりは、言葉として、まかないきれているのでしょうか。その言葉が正しいのでしょうか。もう少しマッチした、いい言葉があるのではないのでしょうか。
千頭 会長	分野横断型重点施策が、これがどうしてでてきたかの説明をお願いします。
事務局	これからの時代は、市民ニーズの多様化など行政の特定部門だけによる課題解決は難しいと考え、より効率的、効果的な施策を実施するため分野横断型を設置しました。国の地方創生の施策でも東京一極集中を解消するための施策を展開しており、交付金の要件も他分野連携にお金を付けています。具体的には西尾では、にしおマラソンと健康づくりが関連しています。分野横断型重点施策は4つあります。1つめ、「魅力あるまちづくり」は、歴史と賑わいを感じることでできるまちづくりとして西尾駅から城下町周辺エリアのまちづくり、「交流人口増加」はスポーツ、歴史、文化、観光、農水産業を活かした交流人口を増やすためのソフト施策の検討をしています。「暮らしやすいまち」はテクノロジーのチカラで多様な暮らしを実現(デザイン)するで、DXで

	多様な市民がゆるいつながりでつながる施策を検討しています。「居場所づくり」は、生きがいや居場所を形成するのが重要であり、西尾市ではコンパス事業で若者相談を受けており、ニーズが高いことから、あらゆる人が孤独や孤立で悩まずに生きていける施策を検討しています。
小田井委員	施策の検討はこれからだと思いますが、作った後に、評価する方法も考えて欲しいです。商工会議所は、会員数を増やすことを目的としてやってきました。折角やった時には、毎年、総括できるようにしたいと思います。
千頭会長	この辺は、次の基本計画で指標と進行管理が出てくると思います。石川委員、井関委員、何かご意見はありますか。
石川委員	基本計画で議論していける部分があると思うので、いいと思います。
井関委員	高齢者が増えています。その辺を踏まえて、居場所など考えてもらえるといいと思います。
千頭会長	概ね時間通りですが、ご発言がある委員はいますか。
辻村委員	次回からの話になると思いますが、施設がない、グラウンドがない、野球場もない、ラグビー場もない、パラグライダーやるところもない、いろんなことする場所がない、若者が遊ぶところがないと思っています。
杉浦委員	外国人が増えているとありましたが、逆の話で、寺津町で遷宮委員をやりました。寺津町は1,250世帯です。世帯数は20年前と変わらないのですが、人口は減っており、外国人は増えています。3月に遷宮が無事終わりました。正直な話、1,250世帯で1億3,500万円を集めるのは無理だと思っていましたが、田舎町なので、1割以上の1億4千万円超集まりました。私の代は遷宮を無事、終わらせてもらいましたが、20年後にある遷宮が本当にできるのだろうかと思いました。故郷として、町に対する魅力を後輩に教えなくてはいけないと思いました。余った予算で、故郷の良さを理解してもらい、申し送りできればと思いました。市全体の話ではありませんが根幹の部分では同じだと思います。
千頭会長	全体通じて何か意見はありますか。
朝岡委員	産業は第1次産業ありきです。1次産業が衰退すると国が衰退します。抹茶やうなぎなど誇れるものがあるので、1次産業に力を入れて欲しいです。財源の案として入札制度にメスを入れてもらいたいです。提案を事務局にしているので、市に見てもらって、入札制度にメスを入れて欲しいです。
千頭会長	ありがとうございます。1次産業にも力を入れて欲しい、との意見でした。大きな方向性でしたが、個々の施策につながる提言ももらいました。全体として、基本構想案として方向性は案の内容でよいでしょうか。いろいろな指摘は基本計画で反映させていくとしてよろしいですか。ありがとうございます。専門委員からご意見はありますか。
杉戸専門委員	施策体系についてはご了解いただきましたが、西尾らしさ、バックキャスティング思考、20年後を見据えたアイデアは、分野横断型重点施策にどう盛り込むか、になると思うので、ここは分野横断的に職員が議論しているので期待したいです。財政の話は、市の財源ばかりではなく、国や県の事業を導入するのもあります。最近は国も事業を公募型でやる傾向があります。市町村からアイデアを出して、いいアイデアを出したところにお金を出す傾向にあるので、分野横断型重点施策では、もっとワクワクするアイデアを盛り込んで事業を積極的にアピールしていく総合計画にする必要があると思います。職員で議論しているので期待したいです。
植野専門委員	今日はありがとうございました。総合計画で大切なのは基本目標です。杉田委員から財政の裏付けがないと単なる夢になる、との意見がありました。やり方としては国から補助を持ってくるという手もあります。肝心なのは、基本目標を語る段階でいくら使うかを決めるのは難しいので、このようなまちにしたい、という6つの目標で、基本計画に落とす段階で、バックキャスト

	で考えたとき、現状とありたい姿のギャップを埋める施策を基本計画に書いていく。今の段階で大切なのは、こうありたいといった軸をぶらさないこと。そうなると施策の取捨選択がでてくるので、その辺がしっかりできるようにチェックしたいと思います。
千頭 会長	分野横断型重点施策を位置付けた意味ができるようにしたいです。国も変わってきて、内閣府が音頭をとって市町村からアイデアを出して、市町村から提案して省庁と内閣府が調整をしているので、その辺も含めて分野横断型の意味がでてくるようにして欲しいです。
事務局	地方創生推進交付金も３事業を実施しており、分野横断型重点施策もそれに使えるようにしていきたいと考えています。
千頭 会長	ありがとうございました。その他で事務局から何かあればお願いします。
事務局	２点ございます。 １点目、本日の報酬ですが、４月２１日（木）に指定口座に振り込ませていただく予定です。 続きまして、２点目、次回日程ですが、計画策定の進捗状況に応じて開催いたしますので、現時点では正式な日程は決まっておりませんが、６月頃の開催を予定しております。日程が決まり次第、案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。 以上です。
千頭 会長	これを持ちまして、第２回西尾市総合計画審議会を終了いたします。